



# Sustainability Report 2024



# CONTENTS

**企業紹介 … P2**

---

**社長メッセージ … P3**

---

**サステナビリティ方針 … P4**

---

**ESG取り組み事例 … P5～7**

---

**ESGデータ集 … P8～10**

---

## 編集方針

- ・ **報告対象範囲** 高松機械工業株式会社単体
- ・ **報告対象期間** 2023年度(2023年4月～2024年3月)の活動について報告  
※対象期間前後の活動も一部含む
- ・ **発行時期** 2024年11月
- ・ **掲載場所** 当社ホームページにて公開  
URL : <https://www.takamaz.co.jp/sustainability/>
- ・ **発行部門** 高松機械工業株式会社  
管理本部 企画経理部 経営企画課  
E-mail : [k-kikaku@takamaz.co.jp](mailto:k-kikaku@takamaz.co.jp)  
TEL : 076-274-1410 FAX : 076-274-1418

## 経営理念

TAKAMAZ は「社会に貢献」する。

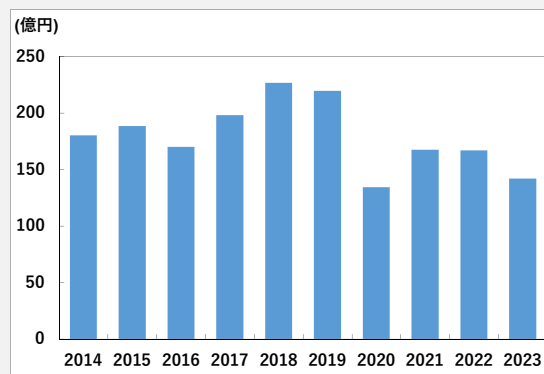
お客様には、安全でメリットのある商品を  
 従業員には、生活の安定と希望を  
 株主には、適切な配当を  
 提供すると共に、協力企業とも共存共栄の精神をもって、  
 社会の発展に積極的に貢献する。

## 企業概要（2023年度末現在）

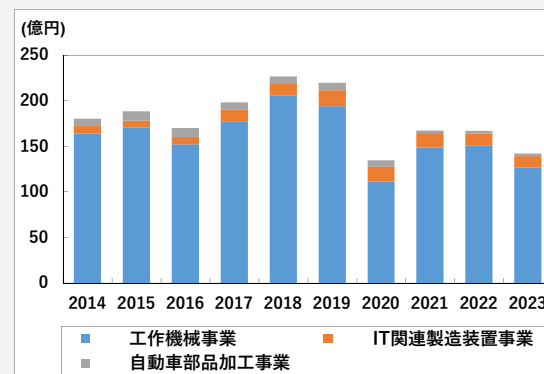
会社名	高松機械工業株式会社
設立年月日	1961年7月1日
本社所在地	石川県白山市旭丘1-8
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード 6155)
連結売上高	141億84百万円
正社員数	連結：562名 単体：502名（平均年齢 38.9歳）
生産拠点	・本社工場 ・あさひ工場 ・第2工場 ・第3工場 ・第4工場 ・開発センター
国内拠点	・関東支店 ・名古屋支店 ・大阪支店 ・東北営業所 ・北信越営業所 ・厚木営業所 ・浜松営業所 ・広島営業所
海外拠点	・TMU(アメリカ)・TME(ドイツ)・TMT(タイ) ・喜志高松(中国)・友嘉高松(中国) ・PTTI(インドネシア)・TMVN(ベトナム) ・TMMX(メキシコ)

## 業績（連結）

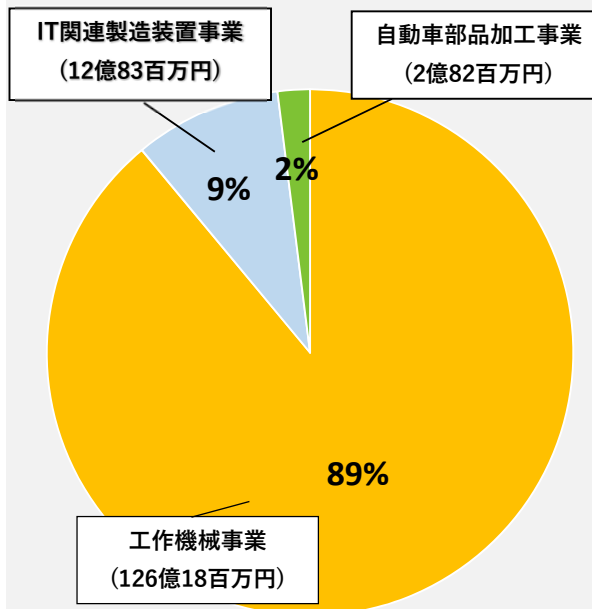
### ■連結売上高



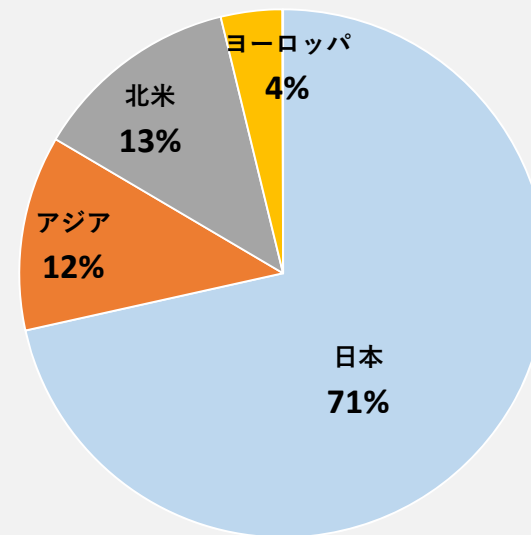
### ■セグメント別連結売上高



### ■セグメント別構成比（2023年度）



### ■地域別構成比（2023年度）



TAKAMAZの企業概要の詳細はHPにも掲載しています。下記リンクよりご確認ください。

・「TAKAMAZってどんな会社？」⇒(<https://www.takamaz.co.jp/company/about/>) ・「5分で分かる！高松機械工業」⇒(<https://www.takamaz.co.jp/column/3045/>)

# 社長メッセージ

## 事業活動を通じた 社会への価値提供を継続していきます

代表取締役社長 高松 宗一郎



### はじめに

ステークホルダーの皆様には、当社に対するご理解、ご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

昨今、サステナビリティの実現は、企業活動と切り離せないものになりました。当社が事業を通じてどのように貢献していくか、責任をもって取り組みを進めたいと考えています。

### カーボンニュートラル実現への取り組み

気候問題の解決に向け、カーボンニュートラルの実現が強く求められています。当社では、事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減や、お客様に提供する製品の性能向上にて、その実現に向けて貢献を続けています。

近年は、使用する電力の一部をクリーンエネルギーに置き換えるため、太陽光

発電設備の導入を行いました。2023年8月に稼働開始した本社工場の太陽光発電設備は、CO<sub>2</sub>排出量の削減に十分な効果を発揮しています。また、2024年10月からはあさひ工場でも太陽光発電設備が稼働開始し、カーボンニュートラルの実現に向けた貢献が期待できます。

新製品開発においては、省エネを意識し、電力消費量を抑制するなど、環境負荷の低減をはかる取り組みも進めています。2023年度に販売を開始した最新機種「XWT-8」は、従来機に比べてCO<sub>2</sub>排出量を約22%削減しました。

当社が進めているカーボンニュートラルの取り組みは、まだまだ道半ばであります。当社は、今後も引き続き様々な取り組みに挑戦し、少しでもカーボンニュートラル社会の実現に近づけるよう、努力を続けてまいります。

### 地域社会への貢献

当社は、地域を代表する企業として、地域社会の活動に協力し、積極的に交流を深めています。

近年は、地域の団体・学校の工場見学会、県内や近県にある大学・高校のインターンシップ受け入れ、地元企業との連携など、地域社会との繋がりを重視した取り組みの拡大をはかっています。

「地域社会とともにあるTAKAMAZ」として、地域社会に貢献する様々な取り組みをこれからも行っていきます。

### 多様性ある企業に向けて

当社がサステナビリティを実現していくには、働く人が大事であると考えています。そこで社員エンゲージメントの向上のため、健康経営の推進、モチベーション向上をはかる「タカマツアワード」の

開催、時代に合わせた人事制度の見直しなど、様々な角度から、積極的に取り組んでいます。

また、多様性も重視されるようになってきました。社会で人手不足が問題となっている中、当社の更なる成長に向けて幅広く様々な人材を集められるよう、多様性のある企業風土の醸成にも取り組んでいきます。

### 今後の展望

サステナビリティの実現には、当社製品がお客様に選ばれ続けること、株主様、地域社会の皆様、社員などの様々なステークホルダーとの結びつきを大切にしていくことが重要と考えています。今後も全社一丸となってサステナビリティの実現と企業価値の向上に取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# TAKAMAZのサステナビリティ

## サステナビリティ基本方針

「TAKAMAZは、常に挑戦し続けるモノづくりを通じて、企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献します。」

高松機械は、「社会に貢献する」を経営理念に、創業以来モノづくりに取り組んできました。

近年、SDGs・カーボンニュートラルなど、サステナビリティを巡る様々な社会課題が山積しており、企業活動を通じて、これら課題解決への貢献が求められています。

これら課題への取り組みが、当社経営理念「社会に貢献する」と同じゴールに向かっていくと確信しています。

私たちは、企業価値の源泉であるモノづくりを通じて、これからも持続可能な社会の実現に貢献していきます。

## サステナビリティ推進におけるマテリアリティ

事業活動に関わるさまざまな課題のなかから、「ステークホルダーにとっての重要度」と「自社が社会・環境・経済に与える重要度及び自社の経営にとっての重要度」の2つの視点のもと取り組みの検証を行い、以下の4つのマテリアリティ（重要課題）を定めました。

マテリアリティ（重要課題）とその選定理由	
<p>・ <b>Environment（環境）</b></p> <p>「モノづくりを通じて地球環境の負荷を軽減します」</p> <p>私たちは、地球環境の保全と利用のバランスを維持し、持続可能な世界を目指すことを、重要な社会課題と認識しています。工作機械をはじめとした優れたモノづくりにより、地球環境負荷の軽減に取り組んでいきます。</p>	
<p>・ <b>Social（社会）</b></p> <p>「モノづくりを通じて社会に貢献します」</p> <p>私たちは、本社・国内各拠点・海外グループ各社それぞれの地域社会と共に事業活動を行っています。地域社会と共生し、成長発展する好循環を生み出していきます。</p>	
<p>・ <b>Governance（ガバナンス）</b></p> <p>「社員と会社の持続的な成長を目指します」</p> <p>私たちは、社員すなわち「人材」こそが、企業の成長や発展の源泉であると認識しています。社員一人一人が、働きやすさや働きがいを感じ、健康に仕事ができる環境を整備し、会社と共に成長する好循環を生み出していきます。</p> <p>「経営基盤をさらに強化します」</p> <p>私たちは、企業活動の土台である経営基盤の強化を重要な課題と認識しています。上場企業として、コーポレート・ガバナンスに基づいた経営を行っています。</p>	

## サステナビリティ体系図

以下は、私たちのサステナビリティの取り組みの中核となる「体系図」です。「体系図」に基づき、取り組みを推進していきます。

ESG	分類	マテリアリティ（重要課題）	取り組み方針	SDGsの達成
	① 環境	モノづくりを通じて地球環境の負荷を軽減します	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地球にやさしい製品を提供します。</li> <li>②企業活動での省エネルギー化を推進します。</li> <li>③政府方針に準じてカーボンニュートラルを推進します。</li> </ul>	
	② 社会 (S)	モノづくりを通じて社会に貢献します	<ul style="list-style-type: none"> <li>①安全・安心・高品質な製品を安定的に提供します。</li> <li>②ITを活用した企業活動を推進します。</li> <li>③協力企業と連携します。</li> <li>④地域社会に貢献します。</li> </ul>	
	③ ガバナンス (G)	<p>社員と会社の持続的な成長を目指します</p> <p>経営基盤をさらに強化します</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①働きやすい、働きがいのある職場環境を整備することで、従業員エンゲージメントを高めます。</li> <li>②健康経営を推進します。</li> <li>③挑戦し、成長し続ける社風を醸成します。</li> <li>④全社最適な会社運営を行います。</li> <li>⑤事業ポートフォリオへの分析に基づく経営資源の投入を行い、持続的な会社発展に努めます。</li> </ul>	

# E (環境)

環境面では、省エネ・省スペースな新製品開発に注力し、環境負荷の低い製品をお客様に提供するとともに、認証取得しているISO14001に基づき、環境方針と環境目標の達成をはかってきました。

## マテリアリティ (重要課題) とその選定理由

### 「モノづくりを通じて地球環境の負荷を軽減します」

私たちは、地球環境の保全と利用のバランスを維持し、持続可能な世界を目指すことを、重要な社会課題と認識しています。工作機械をはじめとした優れたモノづくりにより、地球環境負荷の軽減に取り組んでいきます。

## 取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
①地球に優しい製品を提供します。	
②企業活動での省エネルギー化を推進します。	   
③政府方針に準じてカーボンニュートラルを推進します。	

## 取り組み事例

### 新製品・新技術によるCO<sub>2</sub>削減活動



当社は、CO<sub>2</sub>排出量の削減につながる機能・技術の開発を行い、製品への実装をはかることで、お客様のカーボンニュートラル推進に寄与してきました。

2023年度に市場投入した「XWT-8」では、当社独自の冷却システムを導入しました(特許出願中)。加工時で約2%、待機時には約13%の消費電力削減となります。また、「XTL-8」では、エネルギー消費の効率化をはかりました。従来機比約6%減の省エネ化を実現しています。

今後もカーボンニュートラルに貢献する製品提案を推進し、事業を通じたサステナビリティ実現に向けて積極的に取り組んでいきます。

### 太陽光発電設備によるCO<sub>2</sub>排出量削減



2023年度夏、本社工場にて「カーポート型」と「屋根設置型」の太陽光発電設備を運用開始しました。稼働開始から2024年3月末までにおける約8か月間で、230トンのCO<sub>2</sub>排出量を削減できました。年間通じて稼働する2024年度は、更なる効果が期待できます。

また、2024年10月より、あさひ工場でも太陽光発電設備(屋根設置型)を運用開始しました。年間174トンのCO<sub>2</sub>排出量が削減できる見通しです。

今後も引き続き更なる再生エネルギーの利用拡大に取り組んでいきます。

# S (社会)

社会面では、高い技術を誇る製品を安定供給するとともに、地域社会の一員として社会の期待に応えてきました。

## マテリアリティ (重要課題) とその選定理由

### 「モノづくりを通じて社会に貢献します」

私たちは、本社・国内各拠点・海外グループ各社それぞれの地域社会とともに事業活動を行っています。地域社会と共生、成長発展する好循環を生み出していきます。

## 取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
①安心・安全・高品質な製品を安定的に提供します。	
②ITを活用した企業活動を推進します。	
③協力企業と連携します。	
④地域社会に貢献します。	

## 取り組み事例

### 学生向けの活動

当社では、就業体験の機会を提供するとともに、モノづくりの仕事に対する理解を深めてもらうことを目的に、学生の皆さんに対してインターンシップと工場見学会を実施しています。

これからも地域社会との繋がりを大切に、地域からの理解と愛着がある会社を目指していきます。



### グリーンボンド購入による地域社会の支援

2024年2月、当社は石川県が発行する「グリーンボンド」に投資しました。「グリーンボンド」とは、調達した資金を地球温暖化対策など環境問題の解決に役立つ事業に充当する債券で、石川県では、カーボンニュートラルの実現やトキを象徴とする生物多様性・里山里海の保全のために活用する予定です。

本債券への投資を通じて、地域社会の持続的な発展に貢献できれば幸いです。

#### 再エネ・省エネ対策

- 県有施設の省エネ化
- エコハウスの機能強化
- カーボンニュートラルポートなど



#### 里山・里海の環境整備

- トキの生息環境の保全にも資するほ場や藻場の整備など



#### 自然災害対策

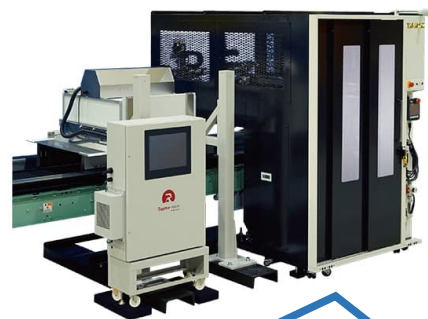
- 河川整備等の水害対策
- 海岸保全等の高波・高潮対策
- 治山施設等の土砂災害対策など



画像出典：石川県HP

### 資源ごみAI自動選別機「AI・B-sort」

### 人手不足解消へ



新規事業への挑戦として開発を進めていた「資源ごみAI自動選別機」がこの度完成し、「AI・B-sort」として販売開始しました。

AIとロボットによって、びんの色選別を行う「AI・B-sort」は、リサイクル業界の人手不足の課題を解決に導く製品です。現在、ごみの再利用が求められる中、大きな貢献に繋がると確信しています。

#### YouTube紹介動画

<https://youtu.be/t0999CTPPXU?si=ugmhhmpGidY14adR>

# G (ガバナンス)

ガバナンス面では、すべてのステークホルダーから信頼され、魅力ある企業となるべく、最適な体制の構築と強化をはかってきました。

## マテリアリティ (重要課題) とその選定理由

### 「社員と会社の持続的な成長を目指します」

私たちは、社員すなわち「人材」こそが、企業の成長や発展の源泉であると認識しています。社員一人一人が、働きやすさや働きがいを感じ、健康に仕事ができる環境を整備し、会社とともに成長する好循環を生み出していきます。

### 「経営基盤をさらに強化します」

私たちは、企業活動の土台である経営基盤の強化を重要な課題と認識しています。上場企業として、コーポレート・ガバナンスに基づいた経営を行っていきます。

## 取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
<b>「社員と会社の持続的な成長を目指します」</b>	
①働きやすい、働きがいのある職場環境を整備することで、従業員エンゲージメントを高めます。	  
②健康経営を推進します。	 
③挑戦し、成長し続ける社風を醸成します。	
<b>「経営基盤をさらに強化します」</b>	
①全社最適な会社運営を行います。	  
②事業ポートフォリオへの分析に基づく経営資源の投入を行い、持続的な会社発展に努めます。	 

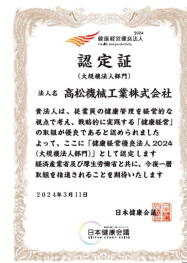
## 取り組み事例

### 健康経営

当社は2024年3月、健康経営優良法人2024(大規模法人部門)に初めて認定されました。

この制度は、経済産業省及び日本健康会議が推進する、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰するものです。これまで当社では、社員の有休取得率の向上や、健診結果・生活習慣の改善に積極的に取り組んできており、その成果が評価され、今回の認定に繋がりました。

今後も、健康経営に取り組み、多様な人材が心身共に健康に働いて、一人ひとりの個性・能力が最大限に発揮できる職場環境づくりに努めていきます。



### 「タカマツアワード」の開催

社内表彰イベント「タカマツアワード2024」を初開催しました。

「タカマツアワード」は、これまでになく新しい活動や収益性を意識した活動等、会社にポジティブな影響をもたらす活動を表彰する制度で、社員のモチベーションアップ、社員同士がお互いの立場をリスペクトすることを目的としたものです。

今後も「タカマツアワード」を継続し、より良い企業文化の醸成、社員エンゲージメントの向上を目指していきます。



### 地震対応について

当社では、災害・事故発生時に社員やその家族の安否を迅速に確認するための「安否確認システム」ツールを導入し、定期的な安否報告訓練の実施を通じて、会社全体としての緊急連絡機能の強化を推進しています。また、年一回の避難訓練を実施しており、就業中における避難対応を確認しています。

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では、社員に速やかに安否確認を取り、被災した社員には当社の備蓄水を生活用水として配布するなどの支援も行いました。

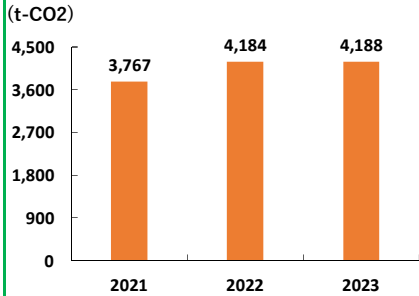


# ESGデータ(1)

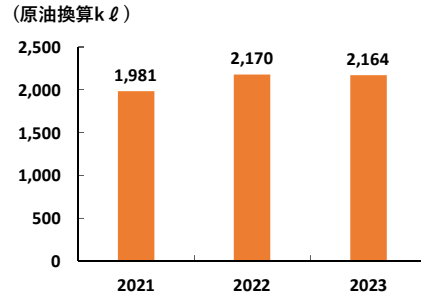
・報告対象期間 2023年度(2023年4月～2024年3月)

## ●環境に関するデータ

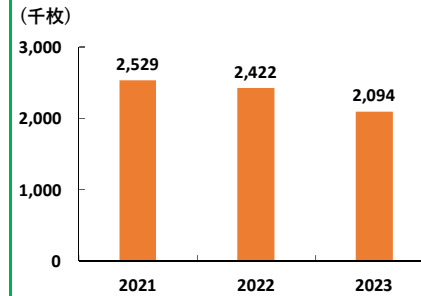
### ■Scope1+2 温室効果ガス排出量



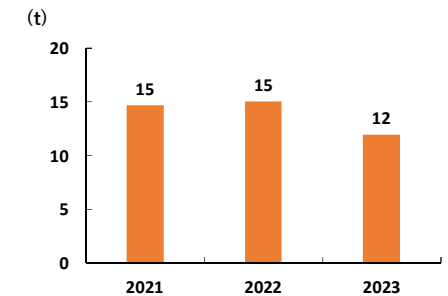
### ■原油換算エネルギー使用量



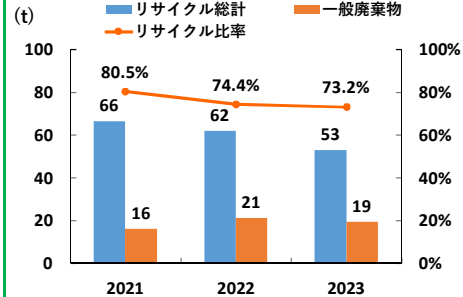
### ■コピー用紙使用量



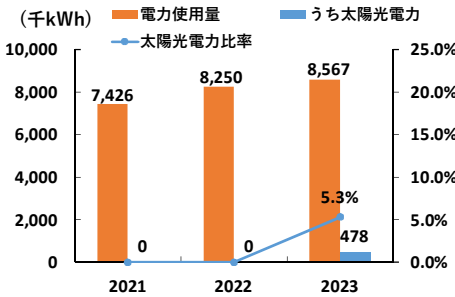
### ■廃プラ類



### ■リサイクル量と一般廃棄物量

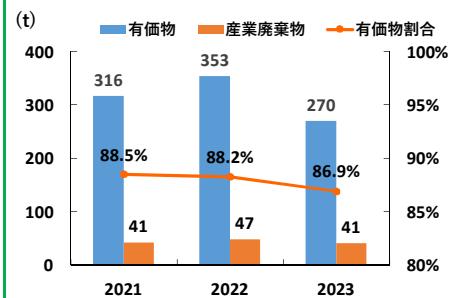


### ■電力使用量

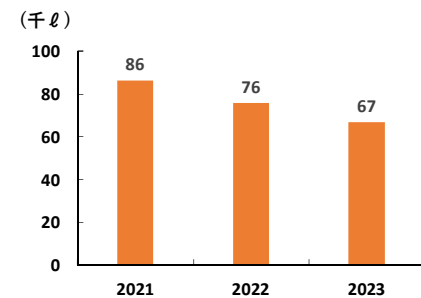


※ 2023年度夏より太陽光発電設備が稼働

### ■有価物量と産業廃棄物量

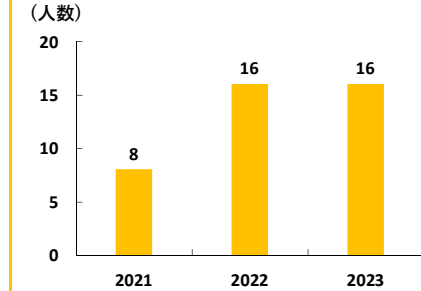


### ■廃油

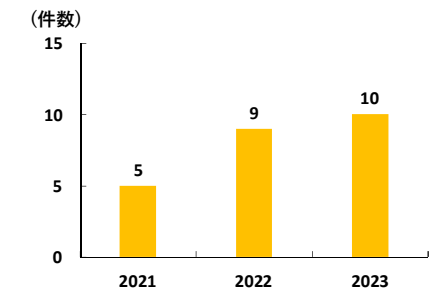


## ●社会に関するデータ

### ■インターンシップ受け入れ人数

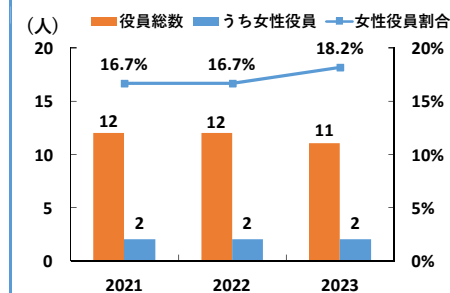


### ■工場見学受け入れ件数(学校・各種団体)

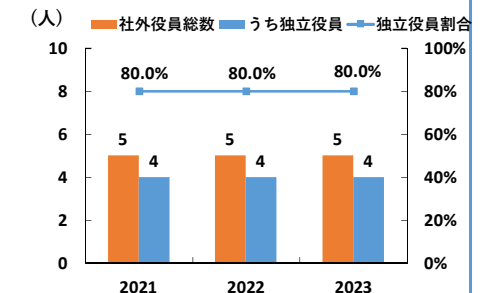


## ●ガバナンスに関するデータ

### ■役員総数と女性役員



### ■社外役員総数と独立役員

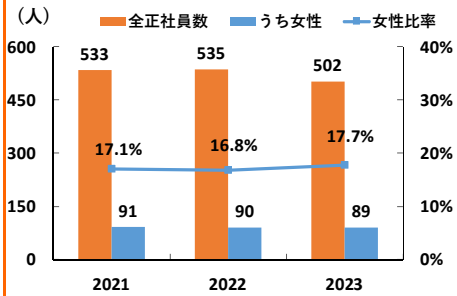


## ESGデータ(2)

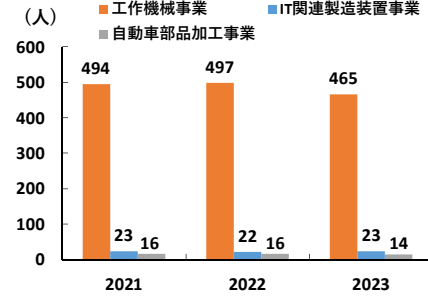
・報告対象期間 2023年度(2023年4月～2024年3月)

### ■正社員に関するデータ

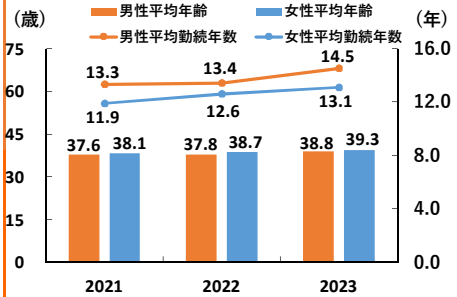
#### ■正社員数



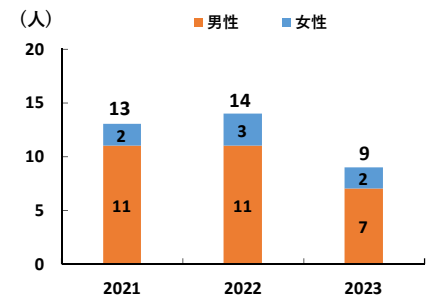
#### ■事業別正社員数



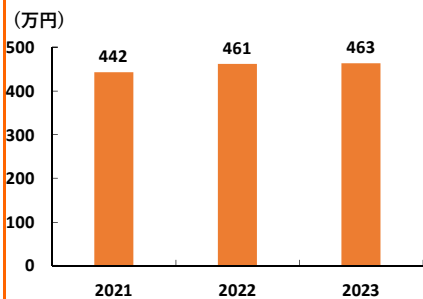
#### ■平均年齢と平均勤続年数



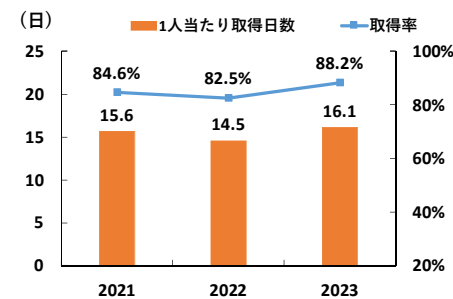
#### ■新規採用者数



#### ■平均年間給与



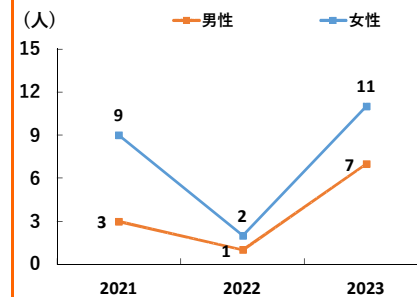
#### ■有給休暇取得日数と取得率



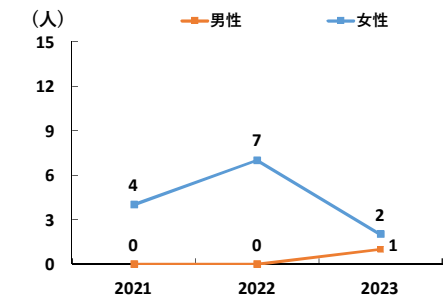
### ■仕事と家庭の両立支援制度

制度名	制度概要
育児休業	子供が1歳になるまで（条件を満たす場合は2歳まで延長可）
介護休業	対象家族1人につき通算93日まで（3回を上限として分割取得可能）
育児時間短縮勤務	子供が3歳になるまで
介護時間短縮勤務	介護短時間勤務利用開始から3年の間で2回以上

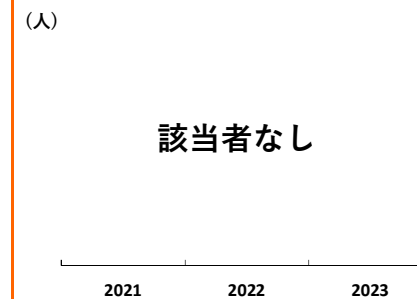
#### ■育児休業者数



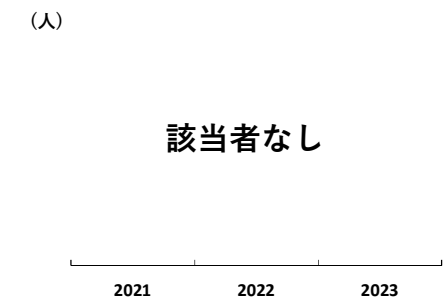
#### ■育児時間短縮勤務者数



#### ■介護休業者数



#### ■介護時間短縮勤務者数



## ESGデータ(3)

### ●教育に関するデータ

#### ■スキルアップ・キャリアアップの支援

TAKAMAZは社員のスキルアップ・キャリアアップへの支援に力を入れており、階層別・専門教育を計画し、実施しているほか、随時OJTを行っています。

また、国家技能検定等、奨励資格を設定し、社員の自己啓発も促しています。会社指定の資格を取得した場合にはその重要度や難易度に応じて奨励金を支給し、自己啓発のための通信教育には受講料を補助しているほか、国内の大学院や研究所の社会人過程で学ぶ社員を対象に、学費の補助も行っています。

#### ■奨励資格の合格人数

科目	2021年度 (人数)	2022年度 (人数)	2023年度 (人数)
国家技能検定 (特級)	3	3	2
国家技能検定 (1級)	4	12	13
国家技能検定 (2級)	24	22	25
社会保険労務士	-	1	-
知的財産管理技能士 (2級)	2	1	-
実用英語技能検定 (準1級)	1	-	-
第1種衛生管理者	3	1	-
QC検定 (2級)	2	-	1
ビジネスキャリア検定 (2級)	4	-	2
安全保障輸出管理 実務能力認定	-	-	1

・報告対象期間 2023年度(2023年4月～2024年3月)

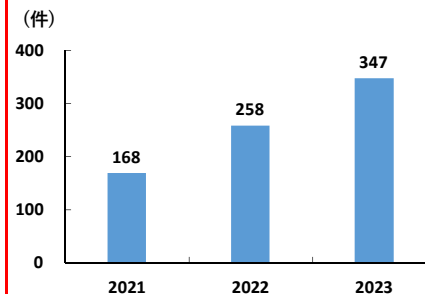
#### ■主な奨励資格の保有人数

	科目	2023年度末 (人数)
国家技能検定 (計444人)	国家技能検定 (特級)	11
	国家技能検定 (1級)	147
	国家技能検定 (2級)	286
その他資格 (計100人)	QC検定 (2級)	6
	ビジネスキャリア検定 (2級)	59
	知的財産管理技能士※1 (2級)	5
	実用英語技能検定 (準1級)	3
	第1種衛生管理者	11
	その他※2	16

※1 旧知的財産検定を含んでいます。

※2 その他には、技術士、社会保険労務士などを含んでいます。

#### ■教育実施件数



#### ■通信教育の利用人数

